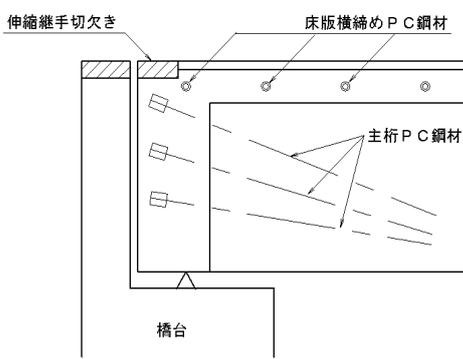
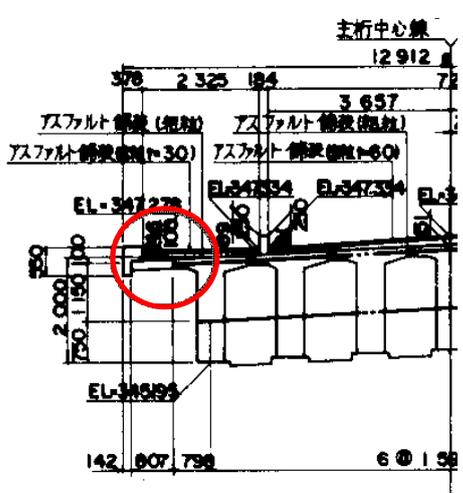


【大分類】 補修・補強	【小分類】 機能回復・向上	【作成日】 令和3年10月1日
【Q-26】 PC橋の伸縮装置取替に関する留意点はどのようなことがあるか。		

【キーワード】 伸縮装置取替、張出床版、橋面防水

<p>【A-26】</p> <p>橋梁の伸縮装置の取替においては、既設の伸縮装置と種類が違ふことが多く、橋梁側の切欠き幅や厚さの拡大が必要となることが想定される。下記の留意点に注意して取替えを行う必要がある。</p> <p>1.PC鋼材との接触破断の可能性</p> <p>伸縮切欠き部とPC鋼材が近接している場合がある（図-1参照）。桁伸縮装置切欠き施工前に、床版横締めPC鋼材および主桁PC鋼材定着位置を設計図書により確認しておく必要がある。</p> <p>また、床版横締めPC鋼材との距離が近い場合においては、接触破断の可能性を考えて床版両側への立入禁止措置、防護板設置を講じることも検討する。</p> <p>2.張出床版の耐力不足</p> <p>外桁床版に張出床版が設置されている場合（図-2参照）、伸縮切欠きの拡大により、床版付け根部等の耐力不足となる場合が考えられる。</p> <p>事前に補強対策等を計画しておく必要がある。</p> <p>3.橋面防水の破損</p> <p>既設伸縮装置の撤去により、既設橋面防水層を破損し、伸縮周辺の舗装の滞水や、雨水の桁内部への浸透が発生する場合が考えられる。必ず伸縮部の橋面防水、橋面排水の再構築を行うことが重要である。</p> <p>もともと橋面防水層がない場合においても、舗装滞水防止対策として橋面排水孔の設置等を行うことも橋梁の長寿命化対策の一つであると考えられる。</p>	 <p>図-1 桁端部PC鋼材位置</p>  <p>図-2 張出床版設置例</p>
---	--

参考文献